

主な内容

- 特集 1~2
防災、命を守る行動を!
- トピックス 3~4
●児童手当の制度が変更になります
●北九州市の新型コロナウイルスワクチン情報 など
- まちがいファイブ 5
情報ステーション 6~11
*最終ページは人口データと若松区の情報

特集 防災、命を守る行動を!

梅雨時期の記録的な豪雨や台風による土砂崩れ、洪水...災害の危険が迫ったときは誰も慌ててしまうものです。そんなとき、慌てず焦らず、冷静に「命を守る行動」をとるには、日ごろからの心構えと備えが大切です。災害の特徴や避難の際のポイントなどを分かりやすくまとめた「北九州市防災ガイドブック」を使って、家族や地域の皆さんと防災について話し合みましょう。

「北九州市防災ガイドブック」がお手元にない場合は、各区役所・出張所、危機管理室(市役所3階)で配布しています。市のホームページ(右記読み取り)でもご覧になれます。



防災ガイドブック 特にここが大事!

① 知る 自宅などの災害リスクを知る

防災ガイドブックと一緒に届く「ハザードマップ」は、その地域でどんな災害が起こりやすいか一目で分かる災害予測地図。自宅や職場、学校などの災害の危険性を把握し、避難場所までの経路を確認しておきましょう。



→防災ガイドブックP27~28をチェック

② 気づく 警戒レベルに応じた危険度に気づく

豪雨による水害は時々刻々と進行する「進行型災害」。避難に関する3つの警戒レベルの情報で、それぞれの危険度、迫ってくる事態、取るべき行動に気づくことが大切です。



→防災ガイドブックP13をチェック

③ 考える 具体的な行動を考えておく

災害が起きたときに、「いつ」「誰が」「何をするのか」などをあらかじめ決めておく「マイ・タイムライン(自分の行動計画)」を作成しておくことで、落ち着いて行動することができます。また、市が指定する避難所に加え、「安全な場所にある親戚や知人の家、ホテルなど」といった「マイ避難所」も事前に検討しておきましょう。

→防災ガイドブックP31、33~36をチェック



2ページでも
防災について
考えます。

市長からのメッセージ

近年、日本各地で大規模な自然災害が頻発しています。大雨や地震などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。災害から命を守るためには、一人一人が日ごろから防災に対する正しい知識と心構えを持ち、災害が発生したときには適切に行動することが重要です。備えあれば憂いなし。大切な命を守るため、日ごろからしっかりと準備しておきましょう。

北九州市長 北橋 健治